

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2020年9月11日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

非線形有限要素法

正誤対象

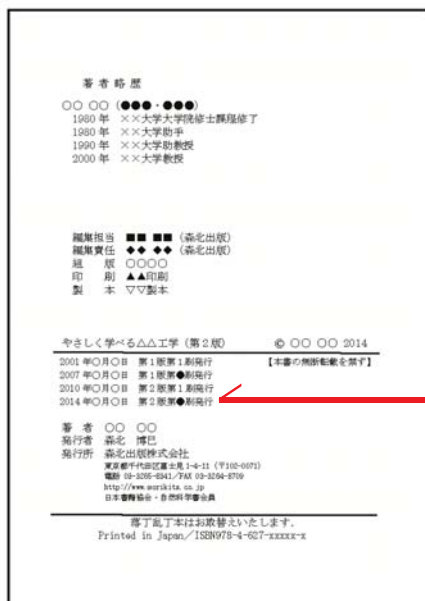
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 2 までをご参照ください
2	対応刷数 2 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応 刷数	頁	行数, 図・ 表・式番号	誤	正
2	170	式 (6.63)	$\dots + \frac{\partial \Phi}{\partial \mathbf{A}} * \frac{\partial^2 \psi^p}{\partial \alpha^2} * \dot{\alpha}$ $\dots + \dot{\gamma} \frac{\partial \Phi}{\partial \mathbf{A}} * \frac{\partial^2 \psi^p}{\partial \alpha^2} * \mathbf{H}$	$\dots + \frac{\partial \Phi}{\partial \mathbf{A}} * \bar{\rho} \frac{\partial^2 \psi^p}{\partial \alpha^2} * \dot{\alpha}$ $\dots + \dot{\gamma} \frac{\partial \Phi}{\partial \mathbf{A}} * \bar{\rho} \frac{\partial^2 \psi^p}{\partial \alpha^2} * \mathbf{H}$
2	170	式 (6.64)	(右辺の分母) $\partial \Phi / \partial \boldsymbol{\sigma} : \mathbf{D}^e : \mathbf{N} - \partial \Phi / \partial \mathbf{A} * \partial^2 \psi^p / \partial \alpha^2 * \mathbf{H}$	$\partial \Phi / \partial \boldsymbol{\sigma} : \mathbf{D}^e : \mathbf{N} - \partial \Phi / \partial \mathbf{A} * \bar{\rho} \partial^2 \psi^p / \partial \alpha^2 * \mathbf{H}$
2	171	式 (6.67)	(右辺の分母) $\partial \Phi / \partial \boldsymbol{\sigma} : \mathbf{D}^e : \mathbf{N} - \partial \Phi / \partial \mathbf{A} * \partial^2 \psi^p / \partial \alpha^2 * \mathbf{H}$	$\partial \Phi / \partial \boldsymbol{\sigma} : \mathbf{D}^e : \mathbf{N} - \partial \Phi / \partial \mathbf{A} * \bar{\rho} \partial^2 \psi^p / \partial \alpha^2 * \mathbf{H}$
2	187	下から 6行目	“縮小円錐” と “拡張円錐”	“圧縮円錐” と “伸張円錐”
2	187	訳注	縮小円錐 拡張円錐	圧縮円錐 伸張円錐
2	280	図 7.21(a)	$h=10$	$h=1.0$
2	396	1~2行目	…同じ離散化手法が用いるならば, …	…同じ離散化手法を用いるならば, …
1	517	2行目	…, それぞれ A および A_0 として, …	…, それぞれ A_0 および A として, …
1	517	式 (12.1)	$D = \frac{A - A_0}{A}$	$D = \frac{A_0 - A}{A_0}$
1	518	式 (12.7)	$D = \frac{E - E_0}{E}$	$D = \frac{E_0 - E}{E_0}$
2	625	最下行	軸方向塑性ストレッチ (axial elastic stretch)	軸方向塑性ストレッチ (axial plastic stretch)
2	710	式 (15.4) の次の行	…, \mathbf{F}_0 の等積変形成分と \mathbf{F} の体積変化成分の…	…, \mathbf{F} の等積変形成分と \mathbf{F}_0 の体積変化成分の…